

令和4年大井町議会第3回定例会

一般質問書

令和4年9月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分)時間	頁
1	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のあり方とその推進について 	岡田幸二	50	1
2	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいゆめの里周辺施設などについて問う ・物価高騰に対する町の対応について問う 	清水亜樹	60	2
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「大井中央公園」とその周辺における安全、安心、快適な利用について 	黒岩陣太郎	40	3
4	<ul style="list-style-type: none"> ・核兵器のない平和な世界のための施策について ・大井町環境基本計画及び森林環境譲与税について ・物価高騰時における学校給食費について 	大石 舞	60	4
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育上配慮を要する児童生徒の支援について ・防災・減災対策について 	伊藤奈穂子	60	5
6	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の重要性について ・中学校の制服について 	重田有紀	60	6
7	<ul style="list-style-type: none"> ・小田町長の選挙公約である産・官・学・民による協働推進について ・「あしがらローカルブランディング」のその後の進捗についてと大井町の地域ブランドについて 	田中正彦	50	7
8	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の市場踏切の安心・安全について ・旧いこいの村あしがらについて 	鈴木武夫	40	8

質問者	通告1番 6番 岡田 幸二 議員	通告時間 50分
		答弁者 町 長
質問事項	協働のあり方とその推進について	
要 旨	<p>町長は4年前、協働によるまちづくりを大きな公約として選挙に臨んだ。「多くの町民の声を聞いて、多様なニーズに応えていくには、みなさんの協力が必要。町民全員参加による協働によるまちづくりで、ひとつの形にしていきたい」</p> <p>「町民と行政、産・官・学・民が特性を生かして自主的、自発的に課題に取り組むべき」とし、協働推進課の設置と、地域ごとの担当職員の配置を掲げ、自治会やまちづくり団体を支援、ネットワーク化を図り自治意識の高揚に努め、また、地域資源の発掘を目指すとした。</p> <p>昨年3月には「大井町協働のガイドライン」を作成し、その推進にまい進していると考えているが、その状況につき以下に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町長が考える協働のあり方とは、そしてこの4年間の自己評価は。 2 協働の担い手である町民活動団体の把握と町民への情報提供は。 3 各課における協働の取組みや各自治会活動の一覧を作成し、町民へ提供・共有することで協働の推進を図る考えは。 4 地域資源を活用し、地域の活性化へ繋げる考えは。 5 町民が協働へ参画しやすい仕組みづくりの考えは。 	

質問者	通告 2 番	通告時間 60 分
	1 2 番 清水 亜樹 議員	答弁者 町 長
質問事項	1 おおいゆめの里周辺施設などについて問う 2 物価高騰に対する町の対応について問う	
要 旨	<p>1 おおいゆめの里周辺は、本町の観光拠点とされており、賑わいを創出するなどを目的に官民連携による取組みが推進されている。そこで取組みの状況や課題等について伺う。</p> <p>(1) 今年 4 月から指定管理者制度を導入した農業体験施設「四季の里」の状況は。</p> <p>(2) 農村公園の水道設備に課題があるようだが、解消に向けた方策は。</p> <p>(3) おおいゆめの里の誘客が更に進む方策の考えは。</p> <p>(4) 農家レストランの開設に向けた検討の結果は。</p> <p>(5) 旧いこいの村あしがらの現在の状況は。</p> <p>2 現在、コロナ禍に加えウクライナ情勢で、原油や物価の高騰が続いており、家庭や事業者への影響は大きいと考える。町は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を原油価格、物価高騰対応分として活用し、家庭や事業者に対して支援しているが、現在の状況などについて伺う。</p> <p>(1) 町は、この状況に対して、次年度予算をどのように見通しているか。</p> <p>(2) 現在、町は水道料金の減免や給食費補助等を実施しているが、今後の物価対策の考えは。</p>	

質問者	通告 3 番 2 番 黒岩 陣太郎 議員	通告時間 40 分 答弁者 町 長
質問事項	「大井中央公園」とその周辺における安全、安心、快適な利用について	
要 旨	<p> 新たなまちづくりの象徴ともいえる「大井中央公園」が5月28日にグランドオープンした。 </p> <p> この公園は、町民の憩いの場であるとともに、地域の防災拠点としても重要な役割を果たすものとして期待される。 </p> <p> 開園後の状況としては、町内外から来園者があり、今後とも多くの利用が予想される。将来にわたり、公園の持つ社会的、経済的価値を認めつつも、その管理運営において、課題があると考え、以下のことを伺う。 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公園は、子ども達をはじめ、多くの住民が利用する場所であるため、防犯面・安全面を向上することが必要になる。特に夜間における犯罪が危惧されるが、対策の考えは。 2 公園は、憩いの場所として、景観面・衛生面での配慮も重要である。今後の管理体制は。 3 公共施設である公園を多くの人に快適に利用してもらうためには、利便性の向上が求められる。現在捉えている課題とその対応は。 4 公園周辺における交通安全対策の考えは。 	

質問者	通告4番 1番 大石 舞 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 核兵器のない平和な世界のための施策について 2 大井町環境基本計画及び森林環境譲与税について 3 物価高騰時における学校給食費について	
要 旨	1 核兵器禁止条約の発効により、核兵器禁止の世界的な流れがうまれている。非核平和都市宣言を掲げている町として、平和施策を発展させるべきという視点から、以下について伺う。 (1) 核兵器廃絶の今日的意義は。 (2) 今年度は非核平和都市宣言30周年であるが、町の取組みは。 (3) 町長の「平和市長会議」への参加状況は。積極的な参加を求めるが、どうか。 (4) 平和施策の今後の拡充は。 2 来年度、環境基本計画が改定される。この10年間の到達と課題をふまえ、2050年にカーボンニュートラルを達成するため、具体的な施策の実行が求められる。そこで以下について伺う。 (1) 町全体の温室効果ガスの、直近の総排出量推定値は。2030年までに削減すべき排出量は。 (2) 小水力や木質バイオマス、ソーラーシェアリングなど、地域循環型の再生可能エネルギー導入の到達と、今後の課題は。 (3) 環境基本計画における省エネ施策の達成状況と課題は。 (4) 水源林保全の観点から、森林環境譲与税の用途について調査・研究する意向は。 3 物価の高騰が家計を直撃している。子どもの健やかな成長を保障するため、給食の質の保障と給食費据え置きについて、町の見解は。	

質問者	通告5番 13番 伊藤 奈穂子 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 教育上配慮を要する児童生徒の支援について 2 防災・減災対策について	
要 旨	<p>1 全ての子ども達が、生まれ育った環境や障がいの有無にかかわらず、健やかに成長し豊かな心を育むための更なる教育支援の充実が必要であると考え、以下について伺う。</p> <p>(1) 町内の特別支援学級在籍者数の推移は。</p> <p>(2) 発達障がい児等の教育支援について本町の現状と課題は。</p> <p>(3) GIGAスクールにより1人1台の端末が整備されたが、特別支援学級や不登校の児童生徒への活用状況と成果は。</p> <p>(4) 学習支援員や介助員等の配置は。</p> <p>2 近年、酷暑が続く暑さ対策も必要性を増してきている中で、地震や水害等、災害が頻発している。命を守るためにどう行動するか平時の時から考えておくことも重要だと考える。一人も取り残さない、災害に強いまちづくりをめざし、防災・減災対策について伺う。</p> <p>(1) 避難行動要支援者登録制度の同意者における個別避難計画作成の進捗状況は。</p> <p>(2) 家屋が崩壊しても一定の安全な空間を確保できる耐震シェルター等の設置に対して公費補助する考えは。</p> <p>(3) 指定避難所である総合体育館、各小中学校の体育館にエアコンを設置する考えは。</p> <p>(4) 大井中央公園に隣接する防災倉庫内に昇降機を設置する考えは。</p> <p>(5) 防災倉庫のシャッターにすいっぴー等をペイントしては。</p>	

質問者	通告6番 3番 重田 有紀 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 幼児教育の重要性について 2 中学校の制服について	
要 旨	<p>1 かつて公立幼稚園は抽選が行われるほどの応募があり、年少は3クラス編成があったりしたが、今では各学年1クラス、園全体で3クラスである。</p> <p>昨今、支援を要する園児の割合が増加傾向にあり、一人ひとりにかかる時間も増加している。園児数減少も踏まえ1クラスの定数を削減し、より質の高い幼児教育が行われることを期待するものだが、定数変更はされていないのが現状である。</p> <p>文科省より、就学前に質の高い幼児教育の機会を保障することは極めて重要であると示されたことも踏まえ、次のとおり伺う。</p> <p>(1) 公立幼稚園の存在意義を追求する努力が必要と考えるが見解は。</p> <p>(2) 幼児教育の現状と課題は。</p> <p>(3) 幼児教育の質の向上に向けた具体的な方策は。</p> <p>2 中学校の制服における検討委員会を発足させるとの答弁から半年強、この7月に第1回制服検討委員会が開催された。性的マイノリティの子どもたちの人権に関わる重要な課題と認識し、地域全体で向き合うべきと考えることから、次のとおり伺う。</p> <p>(1) 教育現場の性的マイノリティに対する理解は進んでいるか。</p> <p>(2) 第1回検討委員会の内容は。</p> <p>(3) 今後の検討委員会の進め方は。</p> <p>(4) 検討内容を公開するべきと考えるが見解は。</p>	

質問者	通告7番 9番 田中 正彦 議員	通告時間 50分
		答弁者 町 長
質問事項	<p>1 小田町長の選挙公約である産・官・学・民による協働推進について</p> <p>2 「あしがらローカルブランディング」のその後の進捗についてと大井町の地域ブランドについて</p>	
要 旨	<p>1 産・官・学・民による協働事業の主たる目的は、地域の活性化であるが、その取組状況、成果と反省、及び今後の方向性について問う。</p> <p>(1) 産・官・学・民の協働を推進して行く上で、どのような体制を組まれたのか。例えば、官民連携にあたり、政府が推奨している「地域プラットフォーム」の導入は検討したのか。</p> <p>(2) 産・官・学・民による協働事業のカテゴリーはどのようなものか。</p> <p>(3) この事業の目的として「商品開発」がある。新しいマーケットの創造や雇用創出が期待できるが、これまで、どのような成果が得られたのか、あるいはどのようなものが進行中なのか。</p> <p>(4) 今後の産・官・学・民による協働事業の進め方は。</p> <p>2 足柄地区6市町で進めている「あしがらローカルブランディング」の現況と大井町地域ブランド構築の進捗について以下を問う。</p> <p>(1) 当該事業は大井町にどのような成果をもたらしたのか、効果測定を行い、結果的に見直しはあるのか。</p> <p>(2) 昨年年第2回定例会において、大井町の地域ブランド構築にあたり、特産品開発の拡大、地域資源のブランド化を進め、大井町の地域特性を「傘ブランド」として強化して行くとの回答だったが、その後の進捗状況は。</p>	

質問者	通告 8 番 7 番 鈴木 武夫 議員	通告時間 40 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 登下校時の市場踏切の安心・安全について 2 旧いこいの村あしがらについて	
要 旨	<p>1 JR 御殿場線の市場踏切は、令和 3 年度の町整備により踏切西側は道路が広くなり車のすれ違いがスムーズになった。 しかし、踏切東側は道路の拡幅をしなかった。そのため道路の幅が車 1 台分しかない。小中学生の登下校時は大変危険な状況であり、事故が起きる可能性がある。 そこで、教育委員会はこの危険な状況をどのように考えているのか。また解決策はあるのか伺う。</p> <p>2 旧いこいの村あしがらは、1 年前に株式会社レスポンスエンジニアに業務を引き継ぎ、新たに人工サーフィン施設を新設し業務を行っている。 そこで、旧いこいの村あしがらの現在の状況はどうなのか伺う。また将来の事業計画はどうなっているのか伺う。</p>	